



# 第30回 東京女子医大 総合診療セミナー

## 家庭医とグローバルキャリア —世界は家庭医を必要としている—

藤田医科大学国際交流センター・グローバル家庭医療教育学

講座特任教授 佐野 潔

・略歴

1978年川崎医科大学卒

78年横須賀米海軍病院

79年八尾徳洲会病院

83年米国ミネソタ大学地域家庭医療学講座

85年米国ミネソタ州ロックフォード・バッファローにて家庭医として開業

99年米国ミシガン大学家庭医学講座臨床助教授

2006年仏国パリアメリカ病院日本人診療科部長

2010年静岡家庭医養成プログラム森町家庭医療センター長

2013年徳洲会地域家庭医療センター長

2020年高知大学家庭医療学講座特任教授

2024年藤田医科大学国際交流センター・グローバル家庭医療教育学講座特任教授

米財野口医学研究所理事長 / 米国家家庭医学会シニアフェロー / 欧州日本人医師会日本支部長

ただ単なる総合診療ではなく医療全てを総括する家庭医は、人を診て、家族を診て、地域を診て、国を診て、世界を診ます。日本の地域医療からグローバルには国連職、WHO職、海外医療、海外邦人医療、外国人医療まで幅広く活躍することができます。さらにローカルにはスポーツ医学、女性医療、思春期医療、老人医療、臨床疫学、医療マネジメントなど横切りの医療にもその力を発揮します。今後、医師として最大の貢献ができる専門医としての家庭医はますます増加していきます。家庭医のなすべき仕事は、眼前の医療のみならず世界の人々の健康保持の観点からグローバルな医療に至るまで、幅広い視野で考えていかなければならない時代が来ています。

未だに米国では臓器専門医による医療費の高騰、また英国では無料医療による過剰受診など様々な問題がありますが、家庭医を中心とした医療を強化することで改善しようとしています。日本においても遅ればせながら、家庭医としての質の高い医療を普及させることで、過剰医療・過剰紹介を減らして医療費を削減し、不要受診を減らすべく国民の医療リテラシーを高めるなど、そういった方向で厚労省も動き出し、さまざまな既得権者の圧力を押し返しながら改革を図ろうと苦戦しています。これからの時代では、狭い分野の専門医による片手間家庭医療開業は、専門医研修と認定証を持った質の保証のされた家庭医療専門医で置き換えられていきます。今こそ、皆さんには10年・15年先を見越して、家庭医療の専門研修をうけ将来を担う時代のパイオニアになっていただきたいと考えます。

ミクロの視点のみで家庭医療を理解するのではなくマクロの視点で家庭医がどれだけ世界に貢献できるか、いわゆるGlobalな視点で皆様と考えてみたいと思います。

今回のお話では、ただ単なる総合診療ではなく全科を診る家庭医療の家庭医療たるアプローチと家庭医のキャリアについてお話ししたいと思います。

対象 総合診療に興味のある医師・学生・コメディカル

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

日時 2024年12月4日(水)

19:00~20:30

申込QRコード



参加方法 QRコードよりお申し込みください

\* 読み込めない方は下記URLよりお申し込みください

\* 必ずではございませんが、日本プライマリ・ケア連合学会の生涯学習単位(医師・薬剤師)が付与されます。

\* お問い合わせ先：東京女子医科大学 総合診療科医局

\* ZOOM <pcc-ikyoku.br@twmu.ac.jp> <03-3353-8111 内線：37312>

[https://zoom.us/meeting/register/tJ0sdOivrjgvH9GuU4\\_0Jhd5RH2Ouwjk5Axx](https://zoom.us/meeting/register/tJ0sdOivrjgvH9GuU4_0Jhd5RH2Ouwjk5Axx)

\* 日本プライマリ・ケア連合学会単位希望 <https://forms.gle/934D9qBZuTzfubzz5>

\* 当セミナー評価 <https://forms.gle/ToMiEWTz1W898YTY9>